

石の枕

先週「若いうちに読みたい・太宰治」(斎藤孝著・筑摩書房)を読んだ。ホーリネス育ちの私は、少年時代、聖書以外は読むべきではないように指導された。その為、大学受験のときは、本当に困った。特に太宰とか芥川龍之介は聖書にふれながらも自殺をした危険人物の類であった。今回この本を読んで長い間の誤解がとけてうれしかった。一部紹介します。

文学者は普通の人では掘り下げられないようなところまで、深く深く井戸を掘り続けます。そこで出てきた水は、やはり普通の人々が飲む水道の水とはちょっと味が違うのではないのでしょうか。

太宰治はそのために命まで懸けて、命を削るようにして小説を書きました。太宰に「晩年」という傑作がありますが、その作品を書くために生まれてきたといってもいいほどに、この作品に命を懸け、これを書いたら死んでもいいと思ったと、言っています。

そして、最後は30代にして真っ白の白髪になってしまうほどでした。自分の命を削るようにして、命懸けで言葉を刻んでいくので、文学者は体を弱らせる人が多く、最後は自殺してしまう人もいました。それは心が弱いから死ぬのではなく、深く深く潜って、いちばん深いところにある水を採ってこようとす

るがために、ボロボロになってしまうのです。

もちろん、死ぬことはいけません、そこにこめられた人間を捉える眼力とそれを手に取るように表現する言葉の力を感じてほしいのです。(斎藤述)

牧師の毎週の説教はまさにこれだと思いました。彼らはどうしてあそこまで深く掘り下げられたのに行き詰ったのでしょうか。それは、謙遜に罪を悔い改め、救い主イエスキリストを心の中心にお迎えしなかったからです。

文学を読むことはとても大切なことですが、それ以上に真剣に聖書を読むことです。祈りながら、敬虔な心で読むと、「真理の御霊(みたま)なる聖霊様」が、私たちに深く悟らせて下さるのです。ホントです。

今日は「聖霊降臨記念日」。聖書の奥義を解き明かして下さるのは、聖霊様の聖務のひとつです。心から「聖霊様を認め、お迎えし、感謝し、委ねましょう」。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:ヨハネ12章~16章 Bコース:歴代志下1章~22章

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであらう」。

(使徒一の一)

司会	①金子兄	②森屋師	③広山兄
奏楽			
祈禱	①川村師	②高木師	
使徒信条			
賛美	聖歌565番 (聖霊の主よ今ここに) (ヨハネ3の16)		
聖書	① ルカによる福音書4章14~21節 ②③ 使徒行伝2章1~4節		
音楽	① 新鮮組 ②③ サインダンス		
メッセージ	① 「言い尽くせぬ喜び」 倉知契副牧師 ②③ 「教会のビフォーアフター」 大川従道牧師		
賛美	「明日はどんな日か」(献金)		
主の祈り			
祝禱			

【大和ニュース】

- ・ 本日は、「ペンテコステ」(聖霊降臨記念日)です。主に感謝します。
- ・ 受洗おめでとう。①仲宗根泉里くん(中2)
- ・ 本日、ハンナ会あり。 J. PLUSは、各会別です。
- ・ 「プロテスタント宣教150周年記念大会」の申込みは、ロビーで出来ます。A券(8日)B券(9日午前)C券(9日午後)各券1000円。キリスト教界歴史上最大のイベントです。場所は、「横浜・パンフィコ」。* 記念晩餐会(7日)もどうぞ!
- ・ 今週の祈禱会では聖餐式がなされます。水曜夜と木曜朝。説教は大川牧師。
- ・ 福音礼拝は、火曜夜2時半。説教は小崎副牧師「人間の存在目的発見」。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時。説教は久保田豊補教師。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜6時50分。説教は森屋幹伝道師。
- ・ ご結婚おめでとうございます。植草三樹男様と石和田光子様。6日(土)2:30pm。
- ・ 来週は「宣教礼拝」。講師は中野雄一郎先生です。お誘い合わせてどうぞ!!